



写真左上から、手書きのプラスターでもアピールする小牧交差点（城下のみなさん）、長瀬自宅前（長瀬と塩川のみなさん）、坂井交差点（塩川と依田のみなさん）、後援会事務所前〈告示後は、選挙事務所となります〉（長瀬、塩川、依田のみなさん）。下の左から、丸子自治センター交差点（斉藤元丸子町議と）、内村橋交差点（女房とのツーショット）。リーフレット配布活動で見つけた福寿草。花の季節はもうすぐそこです。六地蔵に衣装が着せてあり、大切にされている気持ちが伝わってきます。（共産党事務所のある小牧地区で）



## シリーズ・一般質問⑧

26年6月議会（改選後）から直近の議会質問を掲載（8回）

### <H29年9月議会>

#### 市の財政状況はどうなっているか

**質問** 起債（借金）および基金（貯金）の残高はどうか。市財政への市民の関心は端的に3つある。赤字か黒字か、借金はふえているのか減っているのか、貯金の増減はどうかです。平成28年度決算にあたり、起債残高と基金の状況は。

**小野塚財政部長** 起債残高は、27年度末から10億6,500万円余減り、683億7,000万円余。小中学校の耐震化事業の終了などが起債残高の減少の要因です。基金は、27年度末から1億5,200万円余減の222億7,700万円余。これは、市民債の一括償還のため減債基金を2億4,000万円取り崩したなどが要因です。

**質問** 上田市の自主的な財源確保策はどうか。

**小野塚財政部長** 平成28年度実績は、「広報うえだ」への広告掲載料など有料広告収入が1,063万円余、普通財産の貸付収入が5,935万円余、遊休市有土地の売却収入が3,157万円余、寄附金収入が2億509万円余。合計で3億666万円余の収入があった。

寄附金収入では、ふるさと寄附金が7,267件、金額で、1億2,249万円余、平成28年9月から返礼品を充実したことに加え、ふるさと寄附ポータルサイトを導入したことなどにより、前年度と比較して6,864件、1億1,266万円余の大幅な増加となった。また、遊休財産の売却促進に向けた取り組みとして、平成28年11月に宅地建物取引業協会と協定を締結し、民間との連携体制を整備するとともに、今年度の組織改正で財産活用課を新設し、庁内体制も強化した。

### <H29年12議会>

#### 千曲川ワインバレー構想の推進

**質問** メルシャン㈱は、10月、上田市塩川地区陣場台地にワイナリーを新設することを公表した。計画では、2019年秋にはワイナリーを稼働したいとのこと。上田市としてどのような支援ができるか。

**谷仲丸子地域自治センター長** 計画によると2020年の東京オリンピック・パラリンピックに間に合わせる形で白ワインをリリースしたいという意向です。市の関係部署を網羅したワイナリー建設に係る調整会議を開催し、許認可等に係るスケジュールの確認をし、タイムラグが生じないように連携して対応できるよう調整を図っています。また、地元である丸子地域自治センターでは、ワイナリー建設に係る丸子プロジェクトチームを設置し、しっかりとした体制のもとにワイナリーの建設が予定どおりに進むよう最大限のサポートをします。

**質問** ワイナリーが建設されることによる他の産業との連携事業や経済的な波及効果は期待されるかどうか。

**中沢農林部長** ワイン産業は裾野が広いと、さまざまな産業を有機的に結びつけて、地域全体の活性化を図ることができる大きな可能性があるものと考えています。

**質問** ワイン文化を広げる市独自の取り組みはどうか。

**中沢農林部長** 上田市は古くから日本酒、みそ、漬物などの発酵文化が根づいています。「発酵のまち上田」の取り組みや、梔子(まりこ)ワイナリーの新設を契機にワイン文化の醸成に向けて市独自の取り組みを調査研究していきます。